

空き地を活用した多世代ネットワーク形成のためのプログラム「よしひさえん」 その2：アンケート・ヒアリング調査による効果検証

正会員 ○重山隼人*1 準会員 梶田美結*2
同 藪谷祐介*3 正会員 有原千尋*4
同 北島陽貴*1 同 今泉優希*5
同 栗原稜*6

まちづくり アクションリサーチ 多世代交流
重伝建 コミュニティデザイン 低未利用地

1. 研究の背景と目的

前稿（その1）では空き地を活用した多世代ネットワーク形成のためのプログラム「よしひさえん」の企画と実践について報告し、「食」の活動が多世代ネットワーク形成のきっかけになる可能性を考察した。本稿では、「よしひさえん」の実践による多世代ネットワーク形成に関する効果を検証することにより、その可能性を明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

各イベント終了後に参加者全員に対してアンケート調査（記名式）を計4回行った。また、「よしひさえん」の全てのイベント終了後、ヒアリング対象者（以下、対象者）8名に対して半構造化インタビューを行った。アンケート・ヒアリング項目はそれぞれ表1、表2に示す。

アンケート調査は、各質問項目の単純集計を行った。ヒアリング調査は定性的（質的）コーディングを行った。インタビューから得た音声データから、逐語録を作成し、そのデータから「コード」を作成した。さらに作成したコードの関係性を比較検討し、質的に類似したコードを「サブカテゴリ」にまとめた。さらに類似したサブカテゴリをまとめ、要約し抽象化した「カテゴリ」を形成し、多世代のネットワーク形成における「よしひさえん」の効果を整理した。さらにアンケート結果とヒアリング結果を総合的に比較検討し分析を行った。

3. アンケート・ヒアリング調査結果・考察

3-1. 幅広い年齢層の参加

表1 アンケート項目

カテゴリ	アンケート項目
属性	氏名、性別、年代、職業、居住地
イベント参加	参加動機（複数回答可）、満足度・その理由（記述式）、新たな人との出会い（記述式）、良かったことや悪かったこと（記述式）、参加内容（複数回答）
まちづくり活動	まちづくり活動への参加状況、活動意欲、よしひさえんでやってみよう（記述式）

表2 ヒアリング項目

カテゴリ	ヒアリング項目
交流	他の参加者との交流状態、交流できなかった原因、参加者との日常的な交流の変化
よしひさえん	よしひさえんで楽しかったこと、よしひさえんの魅力・良かったこと、参加のきっかけ、よしひさえんへの立ち寄り、課題、難しかったこと、改善点
意識変化	まちづくり活動への参加意識の変化・その理由、帰属意識の変化・その理由

1回以上イベントに参加した人の年代は60代を除き、10代未満から80代以上までいることから、年代を問わず幅広い年齢層から参加があったことがわかった（図1）。

3-2. 地域住民との交流評価

アンケートの「良かったこと」に関する記述回答には「幅広い年齢層が参加し交流しているところが良かった」など、地域の人と交流できたことを評価する意見が多く見られた。また、「今まで、あまり話したことのない人と話せた」という記述もあり、「よしひさえん」の実践によって新たな人とのつながりを創出する可能性が示唆された。

3-3. 「よしひさえん」の実践が形成したネットワーク

アンケート調査の「年代」、ヒアリング調査の「他の参加者との交流状態」の結果をもとに、「よしひさえん」で形成された人とのつながりを図2に示す。ここから、

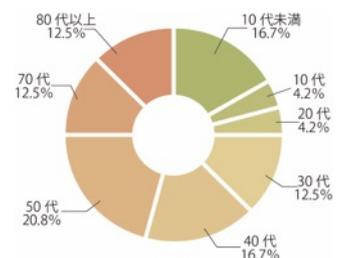


図1 年代

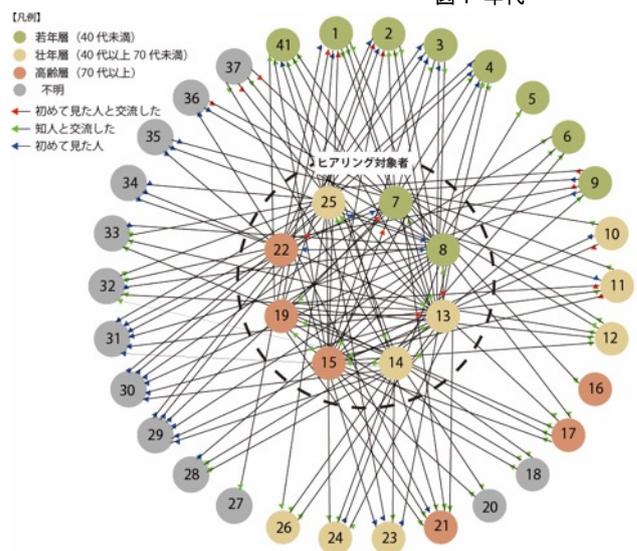


図2 「よしひさえん」の実践が形成したネットワーク

YOSHIHISAEN, a Program for the Formation of
Multigenerational Networks using Vacant Land
Part 2: Verification of Effectiveness through Questionnaires and
Hearing Surveys

SHIGEYAMA Hayato, KAJITA Miu, YABUTANI Yusuke,
ARIHARA Chihiro, KITAZIMA Haruki, IMAIZUMI Yuki,
KURIHARA Ryo

対象者全員が、自分以外の年齢層の人と交流、もしくは初めて見た人と出会う機会を得ていることがわかった。また、⑨、⑩、⑪のように対象者の「初めて見た人」が集中した参加者がいたことから、「よしひさえん」は新たなコミュニティからの参加者を募ることができる可能性のあるプログラムであることが考えられる。さらに、対象者の「初めて見た人と交流した」、「初めて見た人」の人数を表3の通りに整理したところ、同じ年齢層での新たな出会いや交流があまり見られなかった一方で、異なる年齢層での新たな出会いや交流はある程度みられた。このことから吉久では同じ年齢層での交流や活動は既にある一方で、異なる年齢層での交流や活動はあまりない可能性が考えられる。「よしひさえん」の実践において「初めて見た人」の間での多世代交流がみられたことから、「よしひさえん」が多世代のネットワークを形成するきっかけになる可能性が示唆された。

3-4. 多世代ネットワーク形成に向けた効果

対象者同士がどのイベントで初めて交流したのかに着目したところ、⑦は3回の別々のイベントで3人と初めて交流していた(表4)。これは、多種多様なイベントを継続的に行った結果、新たにできたつながりであり、単発のイベントでは生まれる可能性が低いつながりであると考えられる。また、園芸バーベキューにおいては2つの新たなつながりがみられた。つながりが生まれた対象者の園芸バーベキューにおける参加内容をまとめた結果、調理や飲食など、同じ活動を多く行っていることがわかった(表5)。ここから、複数の活動を含むイベントを開催することで、交流する機会が増え、新たなつながりが生まれることが考えられる。同様に参加動機についてまとめた結果、参加動機が異なる人同士に新たなつながりが生まれていた(表6)。さらに、「畑に関心があるから」(園芸)や「BBQに関心があるから」(飲食)のように、異なる「食」に関する参加動機で、かつ年齢層が異なる対象者がイベントに同時に参加していた。ここから、園芸や飲食のような様々な「食」の活動をイベントが内包していたことにより、多様な年齢層の参加者を受け入れる余地が生まれていたと考えられる。また、複数の年齢層で「子供と一緒に参加できるから」や「他の人との交流のため」が共通した参加動機としてみられた。ここから、参加者が潜在的に他の人との交流を求めている可能性があり、「よしひさえん」が、子どもと一緒に参加できる内容であったことが、参加を誘発したと考えられる。

以上より、「よしひさえん」において、多種多様なイベ

ントを継続的に行ったことや、複数の「食」の活動をイベントが内包していたことに加え、子どもと一緒に参加できる内容であったことが多世代の参加・交流機会を創出しただけでなく、参加・交流を促進したと考えられる。

4.まとめ

本研究では、「よしひさえん」を実践し、アンケート・ヒアリング調査を用いて、その多世代のネットワーク形成への有効性を検証した。その結果、「食」をテーマとした多種多様なイベントを内包するプログラムを継続的に実施することによって、①多様な人の参加・交流機会の創出に効果があったこと、②多様な人の参加・交流を促進する効果があったこと、③多世代ネットワーク形成へのきっかけになる可能性を考察した。一方で、日常的なネットワーク形成への有効性を検証するには評価期間が十分ではなかった可能性があるため、今後は活動を長期的に継続、検証していく必要がある。

表3 対象者の交流状況の整理

対象者	年齢層	初めてみた人と交流した				初めてみた人			
		若年層	壮年層	高齢層	不明	若年層	壮年層	高齢層	不明
⑦	若年層	0	0	1	1	1	0	0	4
⑧	若年層	0	1	0	1	1	4	1	8
⑩	壮年層	0	1	0	0	2	0	0	4
⑭	壮年層	0	0	0	0	0	0	0	3
⑮	壮年層	1	0	0	1	5	1	0	4
⑯	高齢層	3	1	0	0	2	1	0	0
⑰	高齢層	3	2	0	0	0	0	0	0
⑲	高齢層	0	0	0	0	7	1	1	6

【凡例】 : 同じ年齢層 : 異なる年齢層

表4 対象者が初めて交流したタイミング

対象者	年齢層	レイズドベッド 制作・苗植え	レイズドベッド 制作・収穫	園芸バーベキュー	よしひさえんにち	出張朝市
⑦	若年層	●	●	●	●	
⑧	若年層	●	●	●	●	
⑩	壮年層	●	●	●	●	●
⑭	壮年層	●	●	●	●	●
⑮	壮年層	●	●	●	●	●
⑯	高齢層	●	●	●	●	●
⑰	高齢層	●	●	●	●	●
⑲	高齢層	●	●	●	●	●

【凡例】 ↑ : 初めての人との交流、主体が各イベントに参加したことを ● で表す

表5 該当する対象者の園芸バーベキューの参加内容

対象者	年齢層	園芸バーベキュー				
		種まき・種植え	BBQの 準備や片付け	食べ物の調理	飲食	参加者との交流 振舞(持ち寄り)
⑦	若年層	●	●	●	●	●
⑩	壮年層	●	●	○	●	●
⑯	高齢層	○	○	○	○	●
⑲	高齢層	●	○	○	○	●

【凡例】 ● : アンケート結果 参加内容 ○ : 観察調査からデータを補完

表6 該当する対象者の園芸バーベキューの参加動機

対象者	年齢層	参加動機(複数回答可)		
		子どもと一緒に参加できるから	企業者に誘われたから	—
⑯	高齢層	畑に関心があるから	空き地活用に関心があるため	他の人との交流のため

対象者	年齢層	参加動機(複数回答可)		
		BBQに関心があるため	他の人との交流のため	子どもと一緒に参加できるから
⑮	壮年層	●	●	●
⑰	高齢層	●	●	●

【凡例】 ● : アンケート結果 参加動機 ○ : 観察調査からデータを補完

*1 富山大学人文社会芸術総合研究科 大学院生

*2 富山大学芸術文化学部 学部生

*3 富山大学学術研究部芸術文化学系 講師

*4 公益財団法人金沢芸術創造財団

*5 株式会社ホリエ (シエルホームデザイン)

*6 江崎建築

*1 Students, Graduate School of Humanities, Arts, and Social Sciences, University of Toyama

*2 Undergraduate, School of Art and Design University of Toyama

*3 Lecturer, Faculty of Art and Design, University of Toyama

*4 Kanazawa Art Promotion and Development Foundation

*5 Horie Corporation (ciel HOME DESIGN)

*6 Ezakichenchiku